



“こそあどの森の物語”
シリーズ完結 『水の森の秘密』 (理論社) 刊行記念

岡田 淳さん トーク&サイン会 & ガンスミス(元劇団四季)による歌と語り “こそあどの森”で書きたかったこと

「こそあどの森の物語」のシリーズは、1995年受賞した野間児童文芸賞の講評で「日本のムーミン谷」という評価を受け、以後22年間、たくさんの子どもから大人に愛されてきました。シリーズ70万部を超えるシリーズの完結を記念して、作者の岡田淳さんのトーク&サイン会+歌と語りの会を開催いたします。
「こそあどの森の物語」シリーズの誕生秘話や、森を舞台に生まれ

てきた数々の物語にまつわるエピソード、登場人物への思い、物語を作る中で考えてきたことなど、貴重なお話をうかがいます。
また、元劇団四季出身の〈ガンスミス〉メンバー（長澄桃子・石橋ちさと他）による、歌と語りのパフォーマンスも予定しています。
同時期開催中の『こそあどの森の物語 原画展』もぜひお楽しみください。

2017年 **3月11日**(土)
13:00~14:30 (開場12:30)

青山ブックセンター本店内・大教室

定員：100名様 入場料：1,080円(税込)

ご参加方法：

- [1] 青山ブックセンターウェブサイトの「オンライン予約」にて受付。
- [2] 本店店頭にてチケット引換券を販売。

※電話予約は行っていません。



岡田 淳 (あかのじゅん)

1947年兵庫県生まれ、神戸大学教育学科卒業後、28年製本学校の職工を経て、1979年『ムンジャクジ』は有名作家に。製本社で作家デビュー。主な作品に、『旅最後の時間』(1981年日本児童文学者協会新人賞)、『二分間の冒険』(1985年うつつのみやこども賞)、『緑のなごりの物語』(1988年赤い鳥文学賞)、『あまぐらうんどの伝説』(1991年児童図書出版文化賞)、『こそあどの森の物語』(1995年野間児童文芸賞、1998年国際アンデルセン賞オナーリスト選出、6巻は2001年うつつのみやこども賞)、『旅いのかうまがうい』(2002年児童図書出版文化賞アンデルセン賞)、『おそあだの森の誕生』(2016年日本児童図書出版文化賞)など多数ある。

ガンスミス

長澄桃子・石橋ちさと他。元劇団四季出身メンバーで2016年結成。「歌って話して歌って語る。ミュージカルを会演するカンパニー」。21年間、数多くの舞台演劇を上演した長澄・石橋は、2000年より17年間、劇団四季で25作品を上演。こそあどの森シリーズは6本のオリジナルミュージカルとして公演。1万2千名の観客を動員した、『The Seven 同3部作』。

お問合せ：03-5485-5511

(青山ブックセンター本店・10:00~22:00)

